

野崎地区市政懇談会

日 時：平成29年7月21日（金）午前9時30分
会 場：野崎研修センター



懇談テーマⅠ 地方創生・行財政改革に関するご意見

- ①雇用対策について。誘致企業の採用枠についてお聞きしたい。
- ②市営住宅が取り壊された後の利用予定についてお聞きしたい。
- ③空家特措法と空家バンクについてお聞きしたい

《ご回答》

①創業支援、新規就農支援、企業誘致などの産業振興施策の強化に加え、産学官連携による新事業、新産業の創出、農林業における6次産業化の推進、先進技術を活用したものづくりへの支援、ICTを活用したテレワーク等の新たな就業形態を促進することにより、新たな雇用の創出に取り組んでおります。

また、誘致企業の工場長等によります意見交換会を例年3回程度開催しております。さらに毎年、市長自ら立地企業を訪問して、主に高校生の採用をお願いするとともに、情報収集を行い施策の推進に努めることにより、地元雇用の拡大につながるよう取り組みを行っております。

②野崎市営住宅につきましては老朽化が著しく大規模な修繕についても困難であるため「建替え」の判定となっております。事業の具体化については平成30年度以降に図ることとしており、計画につきましては、まだ決定しておりません。

今年度、大田原市市営住宅等長寿命化計画の見直しを予定しており、市営住宅全体において、中長期的な入居需要を考慮し、総合的に判断をしまいたいと考えております。

③「特措法」の制定で、それまでは出来なかった空き家等の所有者等に関する必要な情報を求めることが可能となったことで、空き家等所有者への助言・指導が以前より容易にできるようになりました。さらに今年度からは倒壊の恐れがある危険度の高い空き家などに対して、専門家による詳細な調査を実施し、特定空き家として認定した場合は、所有者等へ助言・指導を行い、それでも改善されない場合は、所有者に固定

資産税の住宅用地特例の優遇措置が適用されなくなる勧告を行うなど、今までより一歩踏み込んだ手法により、特定空き家対策を講じてまいりたいと考えております。

また、「空き家等情報バンク」への登録を推進しており、「空き家改修費補助金」や「空き家利用子育て世帯家賃補助金」といった補助制度により、登録空き家の利活用の促進を図っているところであります。

懇談テーマⅡ 高齢者対策・医療・福祉に関するご意見

- ①市営バスの運行時間と回数および停留所を増やしてほしい
- ②運動公園等への AED の設置について
- ③高齢者等に対する買い物難民の対策についてお聞きしたい。
- ④JR 野崎駅の整備について

《ご回答》

①以前より市営バスの運行回数の増加要望があり、平成29年3月に策定した「大田原市地域公共交通網形成計画」の中で「野崎方面循環線」・「佐久山・野崎駅線」につきましては、今後「小さな交通」の導入検討路線として位置付け、具体的には、デマンド交通形式を考えています。

②AEDの設置場所につきましては、市ホームページで公表しているところでありますが、今後、各地区公民館などに設置場所を表示したマップを掲示するなど、周知・啓発を行ってまいります。運動場への設置についてですが、AEDは高価なもので、基本的に屋外に設置をするものではございませんので、ご理解ください。

③平成28年度の見守り活動の買い物代行の件数は709件で、全体の0.6%となっております。見守り組織によっては、日ごろ買い物の機会が少ない方に買い物を楽しむ機会を提供するため、貸し切りバス等による買い物ツアーを行っております。

市が移動販売を実施する予定はございませんが、今後、移動販売等を行う業者等があるか調査した上で、そのような業者等があれば要請をしていきたいと考えております。

④JR東日本に駅の橋上化やバリアフリー化の要望を行っており、昨年度駅ホームの上り線及び下り線において段差解消の工事が行われたところであります。橋上化につきましては、駅東側の整備と駅舎の橋上化、東西通路の整備が一体として必要であることから、今後JR側と協議してまいりたいと考えております。

懇談テーマⅢ その他のご意見

- ①野崎こ線橋通りについて
- ②市道下石上1号線と薄葉44号線への歩道整備および下石上8号線の整備について
- ③野崎ニュータウン内の道路整備について
- ④野崎駅東口周辺整備、駅前商店街の活性化、地籍調査の進捗状況について

《ご回答》

①大田原土木事務所におきまして、事業化に向けての事前調査となります道路基礎調査等を実施しており、今年度は測量を実施することとなっております。

なお、市といたしましても事業実施に備えまして、事業予定箇所を中心に地籍調査を実施いたします。

②下石上1号線から薄葉44号線のうち、国道461号までの区間の半分は那須塩原市区域となっております、整備には那須塩原市との協議が必要となるほか、多額の事業費が見込まれることから、事業実施は困難な状況でございます。

また、大田原市区間の市道下石上8号線は、都市計画道路3・3・3号野崎こ線橋通りの計画と路線の重複区間があり、野崎こ線橋通りの事業実施に合わせて整備することになります。

③市道加治屋矢板線を起点とする団地内幹線道路、実取19号線の400mの舗装修繕工事を本年度予定しており、現在発注の準備を進めているところであります。

なお、平成26年度水道工事箇所の本復旧工事を、本年度野崎ニュータウン第一公園南側の2路線、計178.6mの区間を予定しております。

④東口周辺整備につきましては、整備手法として土地区画整理事業にこだわらず、あらゆる事業手法を検討しているところであります。また、本年度より地籍調査を先行的に実施し、各種整備事業が円滑に実施できる基盤づくりを行ってまいります。

駅前商店街の活性化につきましては、個々の店舗の経営努力だけでは限界があり、商店同士の意識を統一させることが重要であります。

野崎地区におきましても、「わがまち未来創造事業」の助成制度、「大田原市起業再出発支援事業」や各種創業支援事業等の支援策などの活用をご検討くださいますようお願いいたします。市においても地方創生に向けた新たな制度の研究を行い、地域の活性化と商業活動の支援に取り組んでまいります。

懇談会でいただいたご意見

○クリテリウム会場となる3・3・3号線の中央分離帯の草刈りをしてもらいたい。

《ご回答》 除草作業と路肩の土砂の搬出作業を行います。

○広報おたわらの記事をコンパクトに、必要最低限にしてよいのではないかと

《ご回答》 要点を絞り簡素化した広報となるようにしてまいります。

○ふれあいの森について、草刈りをお願いしたい。

《ご回答》 今年度から年2回で予算計上し、整備してまいります。

○かさね橋のトンネル整備について

《ご回答》 交通量調査を実施し、市道および管理用道路の状況を調査し、現道との関係性などを勘案したところ、現状ではむずかしい。

○校庭に埋設した除染土の数値について

《ご回答》 線量については年2回、515ヶ所で継続的にモニタリング調査をしており、数値は下回っている状態です。自然低減しておりますが、モニタリング調査は継続し、その都度ホームページで公表していきます。

○児童公園の除染度埋設場所の陥没について

《ご回答》 12月補正により国庫補助事業で対応いたします。

○カーブミラーについて

《ご回答》 古い型のカーブミラーは順次交換しております。

○心臓マッサージの講習会を普及させてはどうか。

《ご回答》 心臓マッサージに特化した講習が可能かどうか大田原消防署に意見として伝えます。

○ゴルフ練習場の入口の道路の陥没について

《ご回答》 確認いたします。

○大田原商工会議所の会報が、なぜ全戸配布なのか

《ご回答》 会議所の周知活動の一環と思われます。